

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
ときがわ町	①自立支援・介護予防・重度化防止	総人口は毎年減少が続いている中で高齢者人口は増加し、平成33年以降は後期高齢者の人数が急激に増加することが見込まれている。このため、高齢者サロンへの参加や介護予防事業への参加促進が一層重要であると考え、そこで、介護予防事業や高齢者サロンを充実させることで介護予防、重度化防止の普及啓発を図る。	《足腰らくらく教室》 生活機能の低下がみられる方を対象に運動を主とした教室を実施する。 《高齢者サロン》 認知症、閉じこもり予防を主な目的とし町内6カ所で開催する。 《元気アップ教室》 比較的元気な高齢者を対象に筋力トレーニングを主とした教室で、運動習慣の動機づけを目的として実施する。	《延べ参加人数》 H29 H30 H31 H32 足腰らくらく教室(3会場) 795 795 805 815 高齢者サロン(6会場) 2256 2386 2533 2611 元気アップ教室(1会場) 933 1061 1169 1277	・足腰らくらく教室(3会場) 4～3月 36回 710人参加 ・高齢者サロン(6会場) 4～3月 151回 2023人参加 ※上記の他「集いの場」も8会場で実施。 詳細な参加者は未把握。 ・元気アップ教室<OBの部>(1会場) 4月～3月 23回 680人参加	◎	・会場までの移動方法の確保が課題。全町的な公共交通網の形成のほか、新たな方法の検討が必要か。 ・高齢者サロンの実施にはボランティアの力が重要であるが、そのボランティアが高齢化してきている。モチベーションを維持できるようフォローをし、また新たなボランティアを増やす取り組みが必要。 ・新たな参加者をいかに増やすか。広報等でのPRのほか、訪問活動などの際に個別に事業を案内することが有効と考える。
ときがわ町	①自立支援・介護予防・重度化防止	総人口は毎年減少が続いている中で、高齢者人口は増加している。高齢者の内訳をみると、前期高齢者は平成33年度をピークにその後は減少に転じる。後期高齢者は平成33年度までは横ばいだが、その後、急激に増加することが見込まれている。また、平成29年度の第1号被保険者新規認定申請者の平均年齢は82歳であった。このような状況から、高齢者サロンへの参加や介護予防事業への参加促進及び地域に潜在している「何らかの支援を要するが、必要な支援等が受けられていない人」を把握し、サービス等につなぐ取り組みが一層重要であると考え、そこで、一人暮らしの高齢者や75歳以上で概ね3年以上地域包括支援センターと関わりがない方を訪問することで、効果的な事業やサービスへ繋げ参加促進を図る	保健師や看護師が訪問し、基本チェックリスト調査を実施する。その結果、必要と思われる方に対し、介護保険サービスや介護予防事業、高齢者サロン、相談窓口などへの案内や情報提供を行う。それだけでは対応が困難なケースについては、地域包括支援センター職員へ引き継ぐ。	《基本チェックリスト実施件数》 H29 H30 H31 H32 実施人数 256 165 270 280	・基本チェックリスト実施件数 10月～3月 54人	○	・人的・予算的制約があり、実施件数には限度がある。そのような状況で、訪問対象者の選定をどのように行うべきか。 ・実際にサービスへ繋がった人数を把握することが難しい。 ・各地区で行われているサロン等では、参加者の状態の変化も気づくことができる見守りの場でもありと考える。新たな参加者を増やすこともまた、早期に対象者を把握することにつながるのではないかと。
ときがわ町	②給付適正化	介護サービスの利用にあたっては、全ての高齢者が必要なサービスを適切に利用できるよう、利用者がサービスの利用に至るまでの介護認定、ケアマネジメント、サービス提供等、各段階において制度の運用が適切に行われる必要がある。介護給付適正化やケアプランの点検は、介護予防、自立支援・重度化防止に繋がる要素を含むことや、計画の進捗管理にはサービスの利用状況の分析も含まれていることから、介護給付適正化に関する取り組みが重要となる。	《介護認定の適正化》 変更認定や更新認定に係る委託による認定調査の内容について、訪問または書面にて点検することにより適切かつ公平な要介護認定の確保を図る。 《ケアプランの点検》 居宅支援サービス計画の点検及び支援をすることで、個々の受給者が必要とするサービスを確保するとともに、適していないサービス提供を改善する。	H29 H30 H31 H32 《介護認定の適正化》 委託調査件数 30 30 30 30 うち点検件数 30 30 30 30 《ケアプランの点検》 実施件数 20 25 30 35 実施率 0.65% 0.75% 0.89% 1.03%	・介護認定の適正化(年度末) 委託調査件数 17件 うち点検件数 17件 ・ケアプランの点検(年度末) 実施件数 14件 実施率 0.50%	○	適正化やケアプラン点検の手順について、他市町村の取り組みを参考に、計画的・積極的に取り組むことが必要である。